

## ページ 2

### Basic Information / 基本情報

#### Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2013 年 03 月 06 日～2013 年 12 月 18 日まで

#### Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

17 member

#### Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

濱谷 雅弘 氏 北海道工業大学 未来デザイン学部 人間社会学科 教授

武者 加苗 氏 札幌大学経済学部准教授

成澤 元宏 氏 札幌市市民まちづくり局 市民活動促進担当課長

札幌国際大学

札幌大谷大学

北海道大学

北海学園大学

札幌市立大学

東海大学

酪農学園大学

札幌学院大学

北海道開発局

民間企業 2 3 社

#### Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

9,348 ドル (1 ドル 101 円計算 944,173 円)

#### Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

企業協賛（23社）

3,465 ドル／350,000 円

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

なし

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

札幌に住む市民（193万人）

札幌で生活する学生（42,000人）

Objective 目的

説明：（例1）子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

JCI 札幌は未来を担う若者ととも札幌市の未来の都市環境に未来について研究することで、継続的な地域開発のためのネットワークを構築する。

JCI 札幌は札幌に住む市民に、将来も住み続けたい安心で安全な都市について考える機会を提供することで、active citizen を創造する。

JCI 札幌は若者が積極的な意識改革を促すことで、持続可能な地域開発を可能とするリーダーを育成する。

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

1. J C I 札幌は、大学生たちとともに未来の都市環境について調査研究をするため、各大学・企業・札幌市を訪問した。

2. J C I 札幌は、市職員と大学教授、集めた大学生と3回の研究会を開催した。

第1回 市職員1名、大学教授3名、学生14名

第2回 市職員1名、大学教授8名、学生52名

第3回 大学教授8名、学生42名

3. J C I 札幌は学生たちに研究成果をパネルにすることを提案した。結果、11チームから以下の提案があった。

①食をテーマとした繁華街の再開発

②札幌デズニーランド構想

③リタイア後の第2人生を札幌で過ごすための地域開発

④高齢者と若者のコミュニケーションを中心とした商店街の再開発

⑤安心して遊べる公園を活用した地域開発

⑦大学施設を中心とした地域活性化計画

⑧札幌中心部の歩行者天国構想

⑨学生観光ボランティアによる地域活性化

⑩職業体験の活用による地域開発

⑪屋上緑化や雪との共存をテーマにした地域開発

4. J C I 札幌は向上心の強い学生11名を集めた。彼らと都市の将来についてパネルコンペティションを行うための実行委員会を結成した。そして meeting で発表する3組を選抜した。

5. J C I 札幌は実行委員会の学生11名と共に市民に対して monthly meeting を開催した。選ばれた3組は市民の前でプレゼンテーションを行い、順位を競った。

6. J C I 札幌は学生に monthly meeting で決まった順位に基づいて、まちづくりに精力的な都市に視察させた。企業協賛が視察費用を支払った。

1位：④高齢者と若者のコミュニケーションを中心とした商店街の再開発

高知県高松市への視察 市民主導の商店街がある

2位：⑥札幌オリンピック誘致構想

大阪府大阪市 東京に並ぶ大都市

3位：①食をテーマとした繁華街の再開発

北海道千歳市 空港を中心に地域開発が盛ん

7. JCI 札幌は実行委員会の学生 11 名と共に展示会をおこなった。展示会では学生と市民に 11 組のパネルを発表した。北海道工業大学で講義に使われた。

札幌駅地下街（対象 16,000 人）

札幌大谷大学（対象 899 人）

北星学園大学（対象 4,213 人）

札幌大学（対象 3,742 人）

東海大学（対象 1,494 人）

札幌国際大学（対象 1,832 人）

## Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

1. JCI 札幌は 67 名の学生にポジティブチェンジをする機会を与えた。

2. 学生たちは自分の住むまちについて研究することで課題を認識し、改善策を研究した。

3. 学生たちは研究に基づき、未来の都市環境について独創的な提案をプレゼンテーションできるようになった。

4. アンケート結果により、11 名の学生全員が JCI 札幌と共に monthly meeting の運営をすることでリーダーシップを学び、成長の機会を得た。

・ 11 名のうち一人は、JCI 札幌の研究会の手法を取り入れた、社会的課題の解決を図るための研究会を主催し、リーダーシップを発揮した。

・ また、一人は上記の研究会に所属し、震災復興などの活動に多くの仲間と参加することでリーダーシップを発揮した。

5. 学生のプレゼンテーションに市民は共感した。アンケート結果より、参加した市民の 97% が当事者意識をもった地域開発の重要性を理解した。そして参加した市民の 87% が次のコンペティションを望んだ。

6. 学生たちは札幌以外の都市を視察することで、未来の都市環境について具体的に研究をした。学生たちは研究の機会を得ることでJ C I 札幌に報告することで active citizen へと成長し、J C I 札幌へ報告を行った。

支援企業はJ C I 運動の目的を理解し、視察費用を支払った。

7. アンケート結果より、市民の95%が学生の取り組みを評価し、市民の70%が次回の機会提供に期待した。

## Actions Taken 行動

説明：

2013年 4月～5月 行政、各大学訪問  
2013年 6月 6日 第1回検討会  
2013年 6月 7日 パネル作成開始  
2013年 7月 4日 第2回検討会  
2013年 8月 8日 第3回検討会  
2013年10月 1日 パネル選考会  
2013年10月16日 未来の都市環境創造例会  
2013年10月19日～21日 パネル展開催：さっぽろ駅地下街  
2013年10月21日～23日 パネル展開催：札幌大谷大学、北星学園大学  
2013年10月24日～26日 パネル展開催：札幌大学  
2013年10月28日～30日 パネル展開催：東海大学、札幌国際大学  
2013年10月28日～30日 パネル展を使用した授業：北海道工業大学  
2013年11月16日～17日 視察研修（大阪市）  
2013年11月23日～24日 視察研修（高松市）  
2013年11月25日 視察研修（千歳市）

## Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

札幌市は魅力あるまちであるという評価が高いが、若者の流出も多い。  
未来を見据えた持続可能な地域開発を行うには将来を担う若者の力が必要である。  
若者に積極的な地域開発に貢献してもらうためには、若者に魅力ある札幌を創造したいという意識改革を促す必要がある。

### 達成できた目的

J C I 札幌は学生とともに未来の都市環境について研究することで地域開発に興味を持つきっかけを与えた。

J C I 札幌は行政と企業に研究の協力を求めたことで学生、企業、行政による継続的な地域開発のために必要なネットワークを構築することができた。

学生たちの中からリーダーシップを発揮し、能動的に地域開発に関わる者が生まれた。

### 達成できなかった目的

monthly meeting と札幌市議会が重複し、札幌市長は monthly meeting に参加できなかった。継続的な地域開発のために実行委員会を立ち上げたが、J C I 札幌の関与が引き続き必要となった。

J C I 札幌は ACTIVE CITIZEN を創造するために、将来も住み続けたいくなる安心で安全な都市の将来について研究する機会を提供する必要がある。

ページ 3

Objectives, Planning, Finance and Execution

目的、計画、財務、実施

What were the objectives of this program?

このプログラムの目的は？

我われ札幌青年会議所は以下を目的として事業をおこなった。

①未来を担う若者と企業、行政と札幌市の未来の都市環境について研究することで、継続的な地域開発のためのネットワークを構築する。

②札幌に住む市民に、将来も住み続けたいくなる安心で安全な都市について考える機会を提供することで、ACTIVE CITIZEN を創造する。

③若者が積極的な意識改革を促すことで、持続可能な地域開発を可能とするリーダーを育成する。

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように JCI の活動計画と合っていますか？

J C I 札幌は学生たちとともに未来の都市環境について研究した。  
ACTIVE CITIZEN FRAMEWORK を活用し、  
札幌の身近な問題について、根本的な原因を探った。そして、持続可能な解決策を考案し、11チームから解決策の提案があった。  
J C I 札幌はソリューションプロバイダーとしての役割を担い、人々をより良い社会の創造へと突き動かす環境を作り出した。

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理の為に効果的なガイドになりましたか？

J C I 札幌は事業予算を 9,348 ドルとした。  
例会、研究会の会場費のほか、学生たちのパネルやパンフレットの費用に使われた。  
J C I 札幌の目的を理解した企業に地域開発に精力的な他の都市を視察する費用をだしてもらうことで、学生たちに事業予算を超える機会提供を行うことができた。

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は JCI のミッションとビジョンを推進しましたか？

JCI ミッションの推進  
JCI 札幌は、  
①学生に札幌の未来の都市環境の創造について問題と解決策を提案する機会を提供した。  
②学生とともに monthly meeting を運営することで運動の理念や手法を伝えた。  
これにより J C I 札幌は、成長・発展の機会を提供し、学生を positive change させた。

JCI ビジョンの推進  
JCI 札幌は  
①学生と企業、行政とともに札幌の札幌市の未来の都市環境について研究した。  
②学生が考案した解決策を市民に発信した。  
これにより J C I 札幌は、学生、市民、企業、行政による継続的な地域開発のために必要なネットワークを構築することができた。

※画像4つ必要

By number, how many members were involved in this program?

事業のスタッフは何人？

17人

By percentage, how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOMメンバーの参加率は？

52%

Describe the main roles of the participating members in this program

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

① 未来の都市環境を創造するための研究会

JCIメンバー3名でチームを組み、各大学、行政、企業を訪問し、札幌の問題について研究する職員と学生を集めた。

運営（設営、受付、誘導）：JCIメンバー5名

司会；JCIメンバー1名

記録：JCIメンバー1名

進行役：JCIメンバー10名（学生4～5名につき）

② MONTHLY MEETING（学生と共に運営を行った）

・外部講師を選定、打ち合わせ：JCIメンバー3名、学生2名

運営（設営、受付、誘導、音響）：JCIメンバー17名、学生11名

司会；JCIメンバー1名

記録：JCIメンバー2名、学生2名

③ パネル展（学生と共に運営を行った）

会場との打ち合わせ：JCIメンバー3名、学生2名

パネルの搬入、展示：JCIメンバー5名、学生5名

④ 視察

学生との打ち合わせ：JCIメンバー5名

学生の引率：JCIメンバー3名

※画像4つ必要

Skills Developed 習得された技術・能力

What skills were developed in this program?

どんな技術・能力が、このプログラムで習得されましたか？

①JCI 札幌は学生たちに、札幌の未来の都市環境について研究する機会を提供した。  
学生たちは、札幌の問題点について根本的な原因を探る手法を身に着けた。  
学生たちは、札幌の問題点について、独創的な解決策を提案する手法を身に着けた。  
J C I 札幌は、市民が求める札幌の未来の都市環境について学んだ。

②JCI 札幌は学生たちとともに MONTHLY MEETING を開催した。  
学生たちは、自分が考えた独創的な解決策についてプレゼンテーションする能力を身に着けた。  
学生たちは、MONTHLY MEETING を運営する手法を身に着けた。  
学生たちは、地域開発に必要なリーダーシップを身に着けた。  
市民は、自分たちが地域開発について考えることが札幌の将来に必要であることを学んだ。  
JCI 札幌は、多くの市民が潜在的に地域開発に興味を持っていることを知った。

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際のコミュニティへの影響を記述してください

J C I 札幌は行政と企業に研究の協力を求めたことで学生、企業、行政による継続的な地域開発のために必要なネットワークを構築することができた。

MONTHLY MEETING を運営した学生の一人は、J C I 札幌の研究会の手法を取り入れた、社会的課題の解決を図るための研究会を主催し、リーダーシップを発揮した。

また、一人は上記の研究会に所属し、震災復興などの活動に多くの仲間と参加することでリーダーシップを発揮した。

市民は、自分たちが地域開発について考えることが札幌の将来に必要なであることを理解し、ACTIVECITIZEN へと成長した。

※画像4つ必要

ページ6

Impact on Participants 参加者への影響

What was the intended impact on the participants?

参加者への意図された影響は、何でしたか？

・学生たちが未来の都市環境について研究することで、地域開発の当事者である事を理解してもらう。

・学生たちの研究成果を市民に知ってもらう事で市民に地域開発の当事者である事を理解してもらう。

上記により、持続可能な地域開発を可能とする ACTIVE CITIZEN を創造する。

未来を担う若者と企業、行政と札幌市の未来の都市環境について研究することで、継続的な地域開発のためのネットワークを構築する。

学生と一緒に MONTHLY MEETING を運営することで、学生に持続可能な地域開発を主導するリーダーとなってもらう。

J C I 札幌に、学生の考える札幌の将来像を知ってもらう事により、札幌のリーダーとして求められる取り組みを知ってもらう。

Describe the actual impact on the participants.

参加者への実際の影響を記述してください。

学生たちは未来の都市環境について研究することで、持続可能な地域開発を可能とする ACTIVE CITIZEN へと成長した。

市民は学生の取り組みを理解し、札幌の将来について考えることで POSITIVE CHANGE をした。

MONTHLY MEETING を運営する学生から持続可能な地域開発を主導するリーダーが生まれた。

J C I 札幌は学生たちの考える札幌の将来像から今後必要とされる運動について理解した。

※画像4つ必要

ページ 7

### Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？

学生、市民が地域開発の当事者として札幌の未来について考える事で持続可能な地域開発を行うこと。

リーダーシップを発揮した学生が、ACTIVE CITIZEN として札幌の地域開発を牽引すること。

学生と企業、行政が継続的な地域開発のためのネットワークを維持すること。

What changes would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

若年層の流出という札幌の問題を解決するためには、地域開発に興味を持たせることで、札幌を愛する能動的な若者を増やしていく。

JCI 札幌が学生と構築した仕組みを活かし、実行委員会が引き続き運動を継承させる。

JCI 札幌が協力していくことで、学生と企業、行政の間に構築した地域開発のためのネットワークを強化していく。

学生が主催するワークショップなどに参画し、今後も協力関係に構築しつつ、学生との連携を働きかける。

JCI 札幌は、未来の都市環境パネルの具現化を模索する。

※画像 4 つ必要